

次のうち、機能的固着の記述として妥当なのはどれか。

1. 「マッチ箱をろうそく立てに使用する」ということが思いつけないなど、対象物の普段の使用方法に固執してしまい、別の使用方法が思いつかないことである。
2. 普段、足し算による解法に慣れていると、かけ算による解法が思いつかないように、ある種の解法への慣れが他の解法の発想を制限することである。
3. いったん仮説を立てると、仮説の立証に固執し、それに合った事象だけに注意が向くようになることである。
4. 難解な問題で行き詰まった際、休憩を入れずに持続的に問題に取り組むと、かえって解法が発想されにくくなるという現象のことである。
5. 同じ構造の問題でも数字や記号で表現されると、具体的な事物によって表現される場合よりも解法が思いつきにくいという現象である。